

メバル公園活力倍増プロジェクト

第4回 青果市場の移転に向けた懇話会

議事録等

■開催日時・場所

令和7年11月14日（金） 午後2時から午後3時5分まで

防府市役所本館3階共用会議室3A・3B

■次第

1 開会

2 協議事項

青果市場の移転に向けた基本構想（案）について

3 その他

■資料等

- ・【概要版】青果市場の移転にむけた基本構想（案）
- ・青果市場の移転に向けた基本構想（案）
- ・第3回青果市場の移転に向けた懇話会（R7.8.26）議事録等

■出席者名簿（敬称略・令和7年11月14日時点）

【 区 分 】	【 所属団体名 】	【 氏 名 】
会 長	防府市産業振興部	本間 良寛
委 員	山口県農林水産部ぶちうまやまぐち推進課	竹本 浩二
〃	山口県漁業協同組合吉佐統括支店	中島 均
〃	山口県農業協同組合防府とくち統括本部	長田 健
〃	防府青果買受人組合	岩川 博
〃	防府市蔬菜出荷組合	荒瀬 正則
〃	防府商工会議所	中司 正樹
〃	防府消費生活研究会	阿部 幹恵

■傍聴人：2人

■会議録

1 開会

2 協議事項

会議の公開について

- ・ 本日の会議は公開とする。
⇒異議なし。

会議の記録について

- ・ 会議で出された意見等の概要は、会議終了後、事務局で整理したものを各委員に確認後に、会議の要旨を市ホームページで公表する。
⇒異議なし。

青果市場の移転に向けた基本構想（案）について

- ・ 議事内容について事務局より資料を用いて説明。

資料内容についての質疑応答

【事務局】

「【概要版】青果市場の移転にむけた基本構想（案）」と「青果市場の移転に向けた基本構想（案）」の21 ページまでについて、前回懇話会からの変更点を中心に資料に沿って説明。

【A 委員】

- ・ 基本構想の 10 ページ以降について、水産施設や水産市場施設など類似の言葉が多くでてくるので、全体的に名称等の定義づけや統一をお願いしたい。
- ・ 基本構想の 17 ページ（2）①に記載のある「卸売業者が直販できる仕組みを作る」とは、どのようなイメージとなるか。

【事務局】

- ・ 類似の言葉については、全体を見直して整理したい。
- ・ 現青果市場で朝市を行っているが、潮彩市場側に移転した後も定期的に行うことでにぎわいを創出していきたいと考えている。

【会長】

- ・ 潮彩市場の既存店舗との商品の競合など、今後調整が必要だと考えている。

【事務局】

「青果市場の移転に向けた基本構想（案）」の 22 ページ以降について、資料に沿って説明。

【B 委員】

- ・ 21 ページの施設用途ごとの面積と 22 ページのゾーニングについて、建物階数などこれからの検討と思うが、現在のイメージでは、21 ページの卸売場、それから保冷库、事務所、多目的室、諸室までが 23 ページでいう卸売場棟となり、店舗棟は 21 ページの店舗 330 m²、倉庫棟は 21 ページの倉庫・ごみヤード 500 m²になるイメージでよいか。

【事務局】

- ・ そのようなイメージで考えている。

【C 委員】

- ・ 一般車両の駐車場は潮彩市場の正面だけか、それとも大型車両の駐車場にする予定の西側大駐車場も開放するのだろうか。また、大駐車場は常時解放するのか、例えば平日と土日で運用が異なるのか教えてほしい。
- ・ 最近、岡山県の道の駅で、夜間の迷惑行為が問題になっているという話を聞いた。常時解放する場合は不安に思うがいかがか。

【事務局】

- ・ 潮彩市場西側の大駐車場には一般車両も駐車する予定で、現時点では平日・土日関係なく常時解放の予定である。
- ・ 夜間の管理については、県の港湾管理部署からも指摘があり、駐車場の一部に段差を付けるなど、（平面を自由に走れないように）対応を検討したいと考えている。

【D 委員】

- ・ 24 ページの、8 の（K P I の）項で、（道の駅潮彩市場防府の）来場者数を 6 万人増やす目標を挙げているが、どういうものを根拠に設定されているのか。（この目標で）スタートした場合、今後、進捗を検証し、その結果不足する部分は改善していくことが必要と思うが、具体的にどのような対応を考えておられるのかなど、現時点であれば教えてほしい。

【事務局】

- ・ 来場者数だが、観光客調べという調査結果があり、こちらの数字で設定している。
- ・ 目標を立てているので、進捗を検証し、不足している部分などは対策しながら進めていくことになるが、具体的な検証方法等は今後決めていく。

【B 委員】

- ・ 以前に他の委員で海業（＊）ということと言われたと思うが、学生等が見学に来られた際に、対応できる部屋はどの部分になるのか。また、以前にストックヤードについての質問があったと思うが、現青果市場の資材をどのように保管されていくイメージなのかを確認しておきたい。

＊ 海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業で多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの

【事務局】

- ・ 社会見学ができる場所の想定ということになると思うが、基本構想の 21 ページにある多目的室の 250 m²を利用してそういう仕掛けができればと考えている。
- ・ 倉庫については、倉庫棟がメインとなる。魚市場跡地の旧事務所部分に保管してある物や、現青果市場のコンテナなどはそこに保管する想定だが、保管が必要なものについては現状を確認して精査していきたいと考えている。

【A 委員】

- ・ 基本構想 23 ページの動線について、大型車両が海側のエプロン（港湾施設でいう岸壁との間にある通路等）の上を通るということで、通路の側溝は状態がかなり悪く、おそらく県の管理になると思うが、補修が必要だと思う。
- ・ 誘客の問題で、以前に話が出ていた肉の販売、農大による物販など、セールスポイントが必要ではないかと思う。にぎわいを創出するためにどうしていくのかを具体的に協議していく場があるといい。

【事務局】

- ・ 青果市場と水産市場が一緒になった協議の場があると、どのように盛り上げることができるかを考えられる。今後検討していきたい。

【会長】

- ・ 農大による物販については人気があり、市の産業戦略本部等でも意見がでる。事務局で検討を進めてほしい。

【E 委員】

- ・ （潮彩市場の）来場者だが、年代別の資料はあるか。どういう世代の方が多い少ないが分かるだろうか。
- ・ テレビなどでキャンピングカーが話題で、私の知人でも軽自動車のキャンピングカーでキャンプされる方がいる。潮彩市場の大きい駐車場に簡易な水洗や電気等の設置があれば、市外とか県外の方が呼び込めるのではないかと感じた。これだけ大きなスペースがあるため、そういう設備があれば口コミ等で広まって、青果なり水産物なりの珍しい1つの拠点になってくると思うので、観光客を誘致するには大きな駐車場スペースを有効利用したほうがよいと思った。年齢層に加えて市内、県内、県外というデータが取れるとよいと思う。

【事務局】

- ・ そのような（年代別の）データはないが、道の駅の駅長の肌感では、メバル公園が整備される以前は高齢者が多く、午前中でにぎわいも終了という感じだったが、今は人の流れも変わって、若い方が増えたと聞いている。
- ・ 盛り上げていくアイデアとして、いろいろな意見を聞くことができて助かっている。港湾の施設ということもあり、（市が）自由に使える場所は限られているが、検討は進めていきたい。

【A 委員】

- ・ 駐車している車のカテゴリー分けはないが、肌感ではキャンピングカーの駐車台数はそれなりで、朝は県外ナンバーや国外の登録車を見かけることもある。（課金制でも）電源を取れる施設があれば、増える可能性があると思う。ただし、あまり増えるのごみの問題が出てくるので、そうしたことも加味しながら、総合的に考えてほしい。通常のキャンピングカーであれば大きなバッテリーを積んでいるので支障ないが、確かに軽トラックのキャンピングカーは大きなバッテリーを積んでいるわけではなく、電源は欲しいと思う

【C 委員】

- ・ 魚や青果の市場は何時から始まって何時に終わるのだろうか。量にもよるのかもしれないが、およその平均を教えてほしい。

【事務局】

- ・ 青果は朝の6時半からスタート。量にもよるが、競り自体は10分から15分で終わっている。

【A 委員】

- ・ 水産は、朝の5時半からスタート。量にもよるが、競り自体は小一時間。魚の場合は競りが終了し、処理して渡す場合もあるので、その後も周囲は混雑すると思う。

【C 委員】

- ・ 小学校等が見学するのにどうかと思ったが、この時間帯は無理だなと感じる。社会見学でも子どもたちが模擬の体験ぐらいはできるかもしれないが、イベント的だと思って聞かせてもらった。

【会長】

- ・ 実際に魚市場は、おそらく部外者は入れないのではないか。青果市場は入れるだろうか。

【事務局】

- ・ 青果市場では、今年は 1 件、社会見学を引き受けた。来られたのは 10 時半ぐらいで当然競りは終わっているが、施設の案内と模型を使用して競りの疑似体験を行った。生徒に発言していただいて競りの様子を説明すると生徒も想像して関心を示していた。

【A 委員】

- ・ 水産市場では、衛生管理上の問題で競り場へは消毒をした長靴でしか入れない。ただ、朝は早いものの周囲からは見られる。潮彩市場にはメバル公園と合わせて社会見学があり、その際に会議室や研修室があれば、競りの映像を流すなど対応はできると思う。

【C 委員】

- ・ 自分が子どもの頃の下関の唐戸の話だが、競りは見られないものの、いろいろな店舗を回って買うことが子ども心で楽しかった。今は鮮魚店で切り身は見るが、1 匹の魚を見ることがほとんどなくて、何の魚かと聞かれても分からない。体験とは異なるが、お店に並んでいれば子どもがわくわくするのではないかと思った。

【A 委員】

- ・ 潮彩市場なら丸（切り身でないそのままの姿）の魚を結構売っているので来場してほしい。

【F 委員】

- ・ 青果市場の移転場所は潮風が当たる。基本構想の 16 ページの配置図では、旧セリ場と水産市場に分かれているが、水産市場の方は現状として何も囲いが無いと思う。青果市場が移転する旧セリ場の方は全体を囲ってしまう考えだろうか。例えばガラス張りにするとか具体的にどういう形で進めていかれるのかと思った。

【事務局】

- ・ 実際には設計時になるが、潮風を防ぐということで、壁で囲うような形で進めていければと事務局では思っている。開けるところにシャッターをつける形ができるとよい。

【会長】

- ・ 魚市場も囲いではないが、カーテンのようなものがあつたと記憶しているがどうか。

【A 委員】

- ・ 水産市場は、衛生管理上、鳥類などが入らないように防御ネットを張っている。

【G 委員】

- ・ 山口県の卸売市場は全体的に施設の老朽化を迎えていて、各市場が建て替えや修繕、移転などを検討する中で、そもそもの市場の在り方についても悩まれている。そうした中、防府市の今回の試みは、費用の捻出方法も含めてモデルケースになりうると非常に期待をもっている。事業の成功で大事なものは水産市場と青果市場の運営が、ともにW i n - W i nとなるのが重要な要素と思っている。両市場の協議の場を持つという話もあつたが、早い段階でそうした試みをお願いしたいと考えている。

【会長】

- ・ 相乗効果というところで、にぎわいが創出できればいいと思う。事務局でしっかり検討をお願いしたい。今後は現在の青果市場をどう活用するかも課題として出てくるので、そういう部分も検討していくことになると思う。その他事務局から何かあるか。

【事務局】

- ・ 今後のスケジュールについて補足する。本基本構想は 11 月 20 日に市議会議員にも概要版を使用して説明する予定としている。基本構想の完成後は、本日の議事録の確認と合わせて委員の皆様にも送付するので、最終的に内容の確認をお願いしたい。

【会長】

- ・ 事務局からの説明のとおり最後まで協力をお願いする。

【事務局】

- ・ 本日は、貴重な意見をいただき誠にありがたい。本日の意見等を事務局の方で整理して、基本構想に反映させるので、最終版で確認をお願いしたい。